



日本が誇る伝統文化
「着物」の素晴らしさを
子どもたちに伝えたい

和裁士
なまづ はるよ
生津 春代さん
生津和裁

受賞者コメント 幼少期、おばたちが縫っていた花嫁衣裳に興味を持ち、着物に魅せられて42年が過ぎました。「縫って、着て、着せられる人」を合言葉に指導をしています。たくさんの人に着物の素晴らしさを伝えていきたいです。

評価された取り組み 和裁1級、着付け技能士1級の資格を有し、和裁技能の基本である「着物の裁ち方」「縫い方」を若手に伝えるために、認定職業訓練校指導員を務める。小学生ものづくり体験講座、中学校の日本の伝統文化学習の講師として和裁のPRに貢献。



和裁には欠かせない針山、へら台、文鎮、こて